

北名古屋市市民協働推進事業補助金採択事業自己評価シート

事業名 回想法夏まつり

団体名 回想法スクール卒業生の会「いきいき隊」

項目	着目点	自己評価	自己評価コメント
公益性 公共性	・事業の紹介を積極的に行い、市民に開かれた事業でしたか	○	自治会の回覧板や各会場にチラシを置き積極的に紹介した。今後は更に、児童館・児童クラブ・子供会へもPRする。
	・事業を実施することにより、不特定多数の市民の利益増進につながりましたか	◎	参加者が「自分も作りたい!」という声も聞こえ、大いに役立ったと思う。
	・事業を通じて市民の理解や参加、協力が得られましたか	○	自治会の協力により、回覧板で事業の紹介が出来た。自治会長等の招待を考慮する。
実現性 計画性	・当初の事業計画、予算計画は適切でしたか	◎	事業計画、予算計画も予定通りで適切だった。
	・事業を確実に実施するために適切な体制でしたか	○	スタッフ人員配置・体制は概ね良好であったが、アンケート方法を一考した方が良い。
先駆性 協働性	・新たな成果や仕組みを生み出すなどの波及効果がありましたか	◎	特に「夏の宵まつり」には、子どもと祖父母が一緒に来場する姿が見られ、家族での世代間交流が新たな成果であった。
	・他団体とうまく協働し、事業を進めることができましたか	◎	「笛吹童子」「朗読クラブいっぽ」「ささやき」等のグループや、ポップコーンのボランティアさんの協力を得た。
	・行政や団体が単独で行うより、効果をあげることができましたか	◎	隊員の内、すいかづくりをしている人、竹細工が得意な人、折り紙の好きな人等様々な特技を持った人がいて、自発的に協力してくれる。
継続性 自立性	・事業を継続するための計画、工夫、協力体制ができていますか	◎	「いきいき隊代表者会」で協力を要請すれば、特技を持った隊員がすぐ集まる体制は整っている。
	・自己資金の確保に努めていますか	◎	「つくろう会」でプローチ・竹とんぼ・お手玉等を作り、ふれあいフェスタ等で販売し、自己資金作りをしている。
事業効果 有効性	・費用対効果を考え、経費削減などの工夫をしましたか	◎	材料は、廃材の利用、竹等の利用、竹等無料で入手できるものを多用している。 すいか割り用のすいかは隊員からの寄付が多数ある。
	・当初の目標、目的どおりの成果が得られましたか	◎	手作りの遊び道具の楽しさ、昔の暮らしの理解、いきいき隊員の活躍場所の提供等狙い通りの成果が得られた。

自己評価：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全然できなかった ーわからない 又は該当しない